

ガバナー月信 vol.01



ロータリーで良いことをしよう

- ガバナーメッセージ
- 直前ガバナーからのメッセージ
- ガバナーエレクトからのメッセージ
- 地区幹事挨拶
- 地区財務委員挨拶
- 村上RC60周年記念事業の紹介
- 会員数及び出席報告
- 新入会員紹介・訃報
- ハイライトよねやま
- 佐藤年度地区バッジについて



ガバナー就任挨拶

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

ガバナー **佐藤 真** (村上岩船)

国際ロータリー第2560地区2020-21年度ガバナー就任のご挨拶を申し上げます。

2019年4月、第一分区会長幹事からの強い推薦により、ガバナー輩出輪番制導入後の初のガバナー候補として、皆様よりご指導ご協力を頂戴しながら、準備を進めてまいりました。本年1月にサンディエゴでの国際協議会を修了し、希望を胸に帰国した矢先のCOVID-19感染拡大、やがて緊急事態宣言が発出され、まるで出口の見えないトンネルの入り口に立たされた思いでした。面前での諸会合も制限され、結果としてPETSや地区研修・協議会を映像と紙資料による初めての自主研修へと舵を切ったことも苦渋の決断でした。未だ感染第2波の懸念はありますが、種々の苦難を乗り越え、ガバナーとして新年度を迎えることが叶ったのも、偏にガバナー補佐、クラブ会長幹事、地区役員をはじめとする、地区ロータリアン全員の暖かく力強いご支援の賜物と心から厚く感謝申し上げます。

2020-21年度ホルガー・クナークRI会長のテーマは“ロータリーは機会の扉を開く”です。私たちはロータリーを通じてもたらされる多くの機会を活かし、無限の可能性を得られ、その活動がどこかで誰かのための機会の扉を開けると述べられました。

私の地区運営方針は“ロータリーで良いことをしよう”です。私たちは、四つのテストで同じ価値観を共有する仲間として活動し、その一つ一つが“良いこと”であると考えています。ロータリー活動を通じて、機会の扉を開き、良いことをしましょう。クラブで、地域で、地区で、日本で、そして世界で良い奉仕活動を行いましょう。

先のRI理事会では、会員の健康と安全を最優先に考慮し、会員に感染者が発生しないよう、また出席を快く思わない会員に対する配慮として、出席を義務としないことが決議されました。COVID-19は、世界中で人類がかつて経験したことのない程の危機とも言われていますが、ロータリーは115年の歴史の中で、世界大戦、世界恐慌や他の脅威に打ち勝ってきた経験があり、技術と団結を以て乗り越えてきた歴史に照らせば、この危機も乗り越えられると信じています。RIでもこの有事におけるコミュニケーション方法としてオンラインの重要性が唱えられています。私もITに乏しく、不安な心境でZoomの扉を開きましたが、経験を重ねるに従い慣れ、今では私の便利ツールのひとつとなっています。ぜひ皆さんもこの機会を活かし、新しい扉を開いて頂きますようお願いいたします。

最後に、私は今年度地区ガバナーとして、RI会長の言葉を皆様に伝えながら、ロータリーの奉仕活動の主役である、クラブの支援に全力を挙げて取組んでいく所存でございます。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



佐藤年度スタートにあたって

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

直前ガバナー **大谷 光夫**（高田）

国際協議会からお帰りになられた直後、佐藤ガバナーにCOVID-19が降って湧いてきました。PETS、地区研修・協議会どうされていくのかお悩みになられたこととご推察申し上げます。

ご英断により、映像資料配布・受講レポートの提出という形で開催されましたが過去に例を見ない初めての方法でした。渡邊地区幹事はじめそれぞれの実行委員会の皆様が知恵を絞られて地区内に佐藤ガバナーが考えられていることを浸透させられたのでないかと敬意を表わしたいと思います。

年度目標は「ロータリーで良いことをしよう」とされております。この目標達成に向け、まずクラブから、そして地域へ、世界へとその活動を広げていただけるものと期待しております。

COVID-19禍の中での公式訪問はじめ各種イベントの日程が組み込まれておりますが、長いようで短い一年であります。体調には十二分に気を付けていただき、輝かしい佐藤年度となられますようご祈念申し上げます。



佐藤年度スタートにあたって

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

ガバナーエレクト **高尾 茂典**（新潟中央）

国際ロータリー第2560地区2020-2021年度ガバナー“佐藤真丸”の船出、誠にありがとうございます。

サンディエゴで行われた国際協議会で発表された「ロータリーは機会の扉を開く」のRI会長テーマのもと、佐藤ガバナーはRI2560地区方針「ロータリーで良い事をしよう」を掲げられました。

佐藤ガバナーの“様々な機会は自らの手を差し伸べなければ得ることは叶わない”のお考えを大切にして、私自身ガバナーエレクトとして準備を進めて参る所存です。

RI第2560地区の全ての会員の皆様に地区運営に対するご理解とご協力を頂き、特に第2分区の皆様には、各クラブ会長の皆様を通じ地区運営組織のメンバーに加わっていただくお願いをしながら、地区各クラブが活発に活動できる地区組織造りに取り組みたいと考えております。よろしくお願いいたします。

今年は世界各地がCOVID-19(新型コロナウイルス)の感染拡大に見舞われた大変な状況の中、地区運営においてもPETSそして地区研修協議会と、各クラブ次年度会長・幹事始め会員の皆様との大切な次年度準備のための行事が思うように開催できずご苦勞なさっていらっしやると拝察申し上げます。

しかしこの状況だからこそ、クラブ運営のあり方、例会の進め方など、クラブの運営方法で学ぶべきことも多くあると思います。

社会の様々な所で新型コロナウイルスが影響を及ぼしているこの難しい状況の中においても、我々会員は日々の業に励み行動人として活躍しなくてはなりません。

奉仕活動に積極的に取り組むことで連帯感が高まり、親睦がロータリー本来の型になります。

ロータリアンとして、今出来ることを進めて参りましょう。

最後に、佐藤ガバナー・渡邊地区幹事を始めガバナー事務所スタッフの皆様、大きな活躍が期待されているガバナー補佐の方々、地区全クラブの会長始め会員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

これから私共ガバナーエレクトスタッフ全員で、しっかり勉強を重ねながら準備を進めて参ります。

皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。



佐藤年度のスタートにあたり

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度

地区幹事 **渡邊 明紀**（新発田）

第1分区でのガバナーノミニー選出は困難を極めたと伺っています。9クラブの会長幹事会でガバナー輩出輪番制の責任を果たすとの強い意志のもと、ガバナー選出委員会を設置し、不可能な理由よりも可能性を模索し、佐藤真ガバナーが誕生しました。半年を費やした末の合意事項は、大役を引き受けられた佐藤真ガバナーを“第1分区全体で支える”という契りです。当時の大変なご苦勞は側聞していましたが、私にとってはまるで遠い世界の話でした。GW前に会長幹事から「新発田クラブとして地区幹事を輩出することになったので、地区幹事としてクラブのために佐藤真ガバナーを支えてほしい。」との打診があり、亡父ともどもお世話になっている新発田クラブが私を必要としているのならば（後に思えば軽率でしたが）と迷いはありませんでした。地区出向経験もない私にその様な大役が務まるか不安はありましたが、ガバナースタッフの人選を始め、新発田クラブは最初から、そして現在もあらゆる面で私を支えてくれています。今も五里霧中で儘ならない事ばかりですが、クラブの強いサポートはとても幸せな事だと日々実感しています。そして更に幸せに思う事は佐藤ガバナーのお人柄に接した事です。芯が強く一貫していながら、いつも温かく穏やかに見守り御指導下さっています。ガバナーと私は違うクラブの所属ですが、この方の為に頑張りたいと素直に思っています。

地区事務所固定化、ガバナー輩出輪番制、資金運営指針の整備など諸先輩たちが営々と整備してこられた環境のおかげで、辛うじて地区幹事の役目を進め、いよいよ佐藤年度のスタートとなりました。しかし全く予測もしないCOVID-19感染拡大という事態が生じ、PETS、地区研修・協議会などの開催方法変更や、交換留学生派遣中止などを始め、委員会の皆さんが計画してくれていた事業が実現出来ず、各クラブでも例会開催が儘ならない事態に直面しています。現時点でも多くの事業催行は流動的です。しかし、あるRI理事が“2020-21年はロータリーが社会から最も必要とされる年”と仰っておられました。まさにその通りだと思います。クナークRI会長のスローガン「ロータリーは機会の扉を開く」、佐藤真ガバナーの地区運営方針「ロータリーで良いことをしよう」の言葉の通りに、新しい「機会」に臆することなく取組み、今できる「良いこと」に邁進して行きましょう。

“疾風に勁草を知る”という言葉があります。激しい風が吹いてはじめて丈夫な草が見分けられる。苦難にあってはじめて、その人の節操の堅さや意志の強さがわかるということです。逆境の中でも佐藤年度のロータリー活動を、凜とした姿勢で進め、後の方々から良い年度であったと言われる事を目標に、4つのテストを常に心に留め頑張っていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

佐藤年度を良い年度に！そして第2560地区を更に良い地区へ！



佐藤年度のスタートにあたり

国際ロータリー第2560地区

2020-21年度地区

財務委員 **金子 謙** (村上岩船)

7月に入ってロータリーの新年度を迎え、佐藤年度がスタートしました。

今年度の地区予算編成につきましては前年度財務状況を見ると大変厳しい面もあり、入ってきたお金で活動をするという前提のもとで予算編成を致しました。結果として厳しい財政になりましたが、一番大切なことは地区のロータリーの活動を活発にし、支えるということであり、それを忘れないようにしました。予算を公表した時、ガバナー（エレクト）補佐会議、地区運営会議で厳しい指摘も受けましたが、賛成してくれた方もいらっしゃいました。

私の勉強不足から一時的に混乱させてしまったことをお詫び申し上げます。編成し終えた予算も今年に入って思いもよらずCOVID-19によって修正することになりました。佐藤ガバナーと密接に協力しながら年度活動方針や考え方を反映させた予算執行に務めます。

今年度は RI会長ホルガー・クナーク氏は「ロータリーは機会の扉を開く」というテーマであり、佐藤真ガバナーは「ロータリーで良いことをしよう」という方針を掲げました。

ロータリーで良いことを前向きに行い積極的に機会の扉を開いてゆく活動を行ってゆく姿勢が大切であると認識することができます。

私は、ロータリー歴が 11年間しかありませんが、前財務委員の水上様を始め地区事務所の方々の指導を受け、2560 地区の諸先輩方の努力によって積み上げてこられた歴史と伝統に微力ながら少しでも寄与させて頂きますと幸せです。

これから1年間よろしくお願い申し上げます。

村上RC60周年記念事業の紹介

2019-20年度村上RC

幹事 横井 賢

私たち村上ロータリークラブは、新発田ロータリークラブ様をスポンサークラブとして、1959年（昭和34年）9月に28名のチャーターメンバーにより創立され、今年度で60年目の節目を迎えました。

60年と言えば人間の年齢に例えると「還暦」にあたります。還暦という言葉は、十二支と十干を組み合わせた60種類の干支が一巡し、生まれた時と同じ暦に還るという意味です。村上ロータリークラブは創立以来、先輩諸兄のリーダーシップのもと様々な活動を精力的に行って参りましたが、60周年を迎えるにあたり今一度初心に立ち返って地域に役立つ奉仕活動を展開して参る所存です。

本来であれば記念式典・祝賀会で皆様をお迎えする予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からやむなく中止となったことはとても残念なことでした。しかし、記念事業として、近年増加傾向にある子どもたちを狙った犯罪などから、児童、生徒を守ろうと防犯カメラを外部からの人通りの多い地域にある市内の2小学校、1中学校にカメラ4台ずつと記録装置などのセットを寄贈させていただきました。防犯カメラは1画面4分割でリアルタイムに確認できるほか、ハードディスクに録画データが長期に亘り保存できる仕様になっています。

予想外の新型コロナウイルス感染症により、いまだに先行きが不透明な状況ですが、この事業が子どもたちの安心、安全な学校生活に貢献するものとなれば幸いです。



カメラ設置



記録装置設置

第2560地区 2019-20年度5月末 会員数およびMy Rotaryアカウント登録率

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2019年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)		-	381	395	39	14
新発田	2	21.9%	91	96	0	5
村上	2	17.5%	36	40	10	4
水原	1	20.0%	30	30	1	0
中条	2	93.0%	39	43	4	4
新発田城南	4	14.6%	47	48	4	1
豊栄	1	17.4%	23	23	3	0
新発田中央	0	4.2%	50	48	5	-2
中条胎内	3	55.6%	37	36	6	-1
村上岩船	0	22.6%	28	31	6	3
第2分区(9クラブ)		-	424	439	28	15
新潟	2	20.0%	84	90	2	6
新潟東	4	17.5%	54	56	9	2
新潟南	3	34.3%	103	102	3	-1
佐渡	2	100.0%	6	6	0	0
新潟西	3	52.5%	37	40	2	3
佐渡南	0	12.2%	41	41	5	0
新潟北	0	30.0%	38	39	0	1
新潟中央	3	45.5%	22	22	0	0
新潟万代	3	51.2%	39	43	7	4
第3分区(6クラブ)		-	109	107	4	-2
新津	0	11.1%	19	18	0	-1
村松	1	72.7%	10	11	0	1
五泉	1	0.0%	12	12	1	0
白根	1	29.4%	31	34	1	3
新津中央	0	30.8%	28	26	2	-2
阿賀野川ライン	0	0.0%	9	6	0	-3
第4分区(11クラブ)		-	370	381	28	11
三条	2	10.2%	56	59	0	3
燕	0	5.1%	33	39	3	6
加茂	1	10.0%	28	30	5	2
三条南	1	10.6%	48	46	2	-2
分水	0	80.6%	28	31	4	3
見附	4	8.7%	20	23	1	3
吉田	2	6.9%	31	29	4	-2
三条北	0	0.0%	60	61	3	1
巻	0	0.0%	25	23	1	-2
田上あじさい	3	14.3%	7	7	1	0
三条東	0	6.1%	34	33	4	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2019年 7月1日	5月末 会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)		-	305	320	26	15
長岡	3	90.4%	46	52	4	6
柏崎	0	2.3%	41	44	0	3
長岡東	0	23.3%	58	60	3	2
柏崎東	0	18.4%	48	49	4	1
栃尾	2	12.5%	22	24	0	2
長岡西	1	18.2%	54	55	5	1
柏崎中央	0	25.0%	36	36	10	0
第6分区(6クラブ)		-	141	139	11	-2
十日町	3	19.4%	28	31	3	3
小千谷	0	9.4%	32	32	2	0
雪国魚沼	0	4.2%	26	24	3	-2
十日町北	1	4.3%	23	23	2	0
津南	0	16.0%	26	23	1	-3
越後魚沼	2	16.7%	6	6	0	0
第7分区(8クラブ)		-	322	348	25	26
高田	2	30.8%	59	78	5	19
直江津	0	31.9%	64	72	7	8
新井	0	0.0%	33	32	1	-1
糸魚川	0	92.9%	42	42	2	0
高田東	0	69.4%	36	36	2	0
糸魚川中央	1	51.4%	35	35	0	0
頸北	2	23.1%	13	13	2	0
越後春日山	1	100.0%	40	40	6	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,052 人
5月末 会員数	2,129 人
女性会員数	161 人
純増減会員数	77 人
My Rotaryアカウント登録率	28.6 %

※先々月号からの訂正

3月末日会員数

雪国魚沼RC(25名⇒24名)

2560地区合計(2,124名⇒2,123名)

4月末日会員数

雪国魚沼RC(25名⇒24名)

2560地区合計(2,128名⇒2,127名)

地区主要行事予定7月-8月

			行 事	会 場
7月	1	(水)	第1回ガバナー会議	オンライン会議
	5	(日)	全国青少年交換委員長会議	オンライン会議
	12	(日)	危機管理委員会	ホテルオークラ新潟
	18	(土)	ロータリー財団地区奨学生候補者オリエンテーション	万代シルバーホテル
	18	(土)	財団ミーティング	万代シルバーホテル
	19	(日)	会員増強セミナー（戦略広報含）	D V D 配布
8月				会員増強・新クラブ結成推進月間
	1	(土)	ロータリー財団地区資金監査	万代シルバーホテル
	1	(土)	財団ミーティング	万代シルバーホテル
	6	(木)	大学担当者向け米山制度説明会	ホテルオークラ新潟
	29	(土)	第1回地区ロータリー財団セミナー/地区補助金オリエンテーション	A N A クラウンプラザホテル新潟
	30	(日)	国際奉仕フォーラム	ホテルオークラ新潟
	30	(日)	米山記念奨学生・カウンセラー研修/米山記念奨学生親睦交流会	ホテルオークラ新潟

新入会員紹介（敬称略）

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
高田	齋藤 祐介	2020.5.22	(株)新潟日報社 上越支社	支社長	新聞発行
津南	吉光 崇志	2020.6.1	日本生命保険津南営業部	営業部長	生命保険
村松	渡邊 伸秀	2020.6.1	渡辺税理士事務所	所長	税理士
直江津	松岡 直樹	2020.6.2	(株)ガーディアン	代表取締役社長	環境保全
長岡東	高橋 宏幸	2020.6.10	税理士法人 高橋税務事務所	社員税理士	税理士
三条	松平 隆行	2020.6.10	東京海上日動火災保険(株) 長岡支社	課長	保険

訃報

なし



・奨学生からのFAQ — コロナ禍の中で —

新型コロナウイルスによる影響で、現在、奨学生からよく聞かれる質問をご紹介します。

Q 奨学期間が始まっているのに、日本政府の入国制限（あるいは母国の出国制限）のため、いつ日本に入国できるか見通しが立たず、不安です。

現在日本以外の海外にいる新規・継続奨学生には、「出国届」のWeb登録をお願いしています。通常、出国の最大日数は90日としていますが、当会選考・学務委員会での協議により、7月末までは、90日を超える出国を認める特別措置を取ります。8月以降の対応については、同委員会にて協議の上、決定次第お知らせします。奨学生は、海外出国中の間も、世話クラブやカウンセラー、地区米山記念奨学委員会とEメール等で常に連絡を取るようになしてください。

Q 日本政府による『学生支援緊急給付金』は、米山奨学生も申請できますか？

この給付金は、国がコロナの影響で困窮する学生を救済するために設けた緊急支援金であることから、当会で禁止する「他の奨学金の二重受給」には当たらないと判断し、米山奨学生が所属する大学・学校へ申請し、支給対象者として選ばれた場合には「併給可」とします。ただし、生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高いことや、仕送りが月額平均9万円以下であることなどの支給要件がありますので、当会の奨学生が支給対象になるかどうかは、各大学・学校の判断によります。

2. 博士号取得状況

2019学年度(19年4月～20年3月)に博士号を取得した奨学生・学友は43人、これまでの累計は3,771人となりました(6月9日現在)。

米山記念奨学会では、博士号を取得した奨学生・学友へお祝いの腕時計をお贈りしています。名前入りの、世界にただ一つの腕時計となっており、大変好評です。博士号を取得した奨学生・学友がいましたら、当会事務局へご報告ください。



- ・奨学期間終了後の取得でも対象となります
- ・お届け先は、原則として世話クラブです
- ・完成まで約2週間かかります

申請方法

「学位記の写真」か「学位取得証明書」を世話クラブ経由で米山奨学会へFAXまたはメールでお送りください。(FAX:03-3578-8281/メール:scholars@rotary-yoneyama.or.jp)

文字盤の裏に氏名を刻印

寄付金速報 — 今年度は30日着金分まで —

5月までの寄付金累計額は、前年同期と比べて4.9%減(普通寄付金:2.2%減、特別寄付金:6.2%減)、約6,300万円の減少となりました。新型コロナウイルスによる自粛や休業・休校要請は徐々に解除されているものの、5月単月では前年比71%となっており、コロナ以前の状態には至っていません。こうした状況下で

も、多くのロータリアンからご寄付をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。今年度の寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月30日(火)までに当会の銀行口座に入金記帳された分までとなります。ご送金の際には日程に余裕を持ってお送り下さい。今年度最後のご支援をよろしくお願いいたします。

4. 学友によるマスク支援 第2報

第2770地区

第2770地区（埼玉県南東部）米山学友会が5月24日、県内にある2箇所の高齢者福祉施設へマスクを寄贈しました。



「介護施設などコロナの最前線で働く方々に対して、米山学友会として何かできないだろうか？」との思いから、この企画がスタート。海外在住者を含む同学友会会員から寄せられた寄付金を原資に、春日部市および越谷市の高齢者

福祉施設へ計10,500枚のマスクを寄贈しました。同施設には毎年、地区米山奨学委員会の指導のもと、現役奨学生と学友会が慰問奉仕活動をしています。

第2760地区

第2760地区（愛知県）でも5月21日、米山奨学生・学友会と地区米山委員会が共同で、要介護高齢者の介護医療院など5つの施設へ計5,000枚のマスクを寄贈しました。

「コロナウイルスに負けず、少しでも皆さんの励みになればとの思いを込めました」と、会長の林琮さんは語ってくださいました。



5. 2021年台北国際大会に参加しましょう！

今年度のロータリー国際大会は、新型コロナウイルス拡大により中止となりましたが、6月20日から、早くも来年6月12～16日に台北で開催される国際大会の登録がスタートします。

開会式前日の2021年6月12日には、昨年の「絆 in モンゴル」につづく第3回世界米山学友の集い「出会い in 台湾」が、台湾米山学友会の主催で開催される予



定です。

そのほか、同国際大会では、米山記念奨学会がブースを出展するほか、分科会を開いてロータリー米山記念奨学事業を世界のロータリアンへ大きくPRする予定となっています。今月20～26日の期間に登録した方には特別プロモーション割引が適用されます。米山学友とともにぜひご参加ください。

▼台北国際大会についての詳細

www.riconvention.org/ja/taipei

事務局勤務体制について

【6月の事務局開室時間】平日 10:30～16:00

6月は、テレワークや時短・時差通勤を併用し、段階的に通常業務への移行を図ってまいります。上記時間は事務局職員が交代で出勤しており、直接電話に出て対応させていただきますが、お問い合わせの際には、引き続きEメールも併せてご活用くださいますよう、よろしくお願いいたします。

国際ロータリー2560地区2020-2021年度バッジについて



ロータリーで良いことをしよう

新潟県最北の第1分区は、長い海岸を有し豊栄・新発田・胎内・村上の各所から「日本海に沈む美しい夕日」を楽しむことができます。

また「ハマナス」はその海岸一帯、特に瀬波温泉や国の名勝天然記念物に指定されている笹川流れに多く群生しており、夏にはその可憐な花が彩りを添えます。

そして日本海にそそぐ川には、秋になるとたくさんの鮭が遡上します。伝統漁法やふ化技術の伝承はこの地域の鮭文化の礎となっていますが、その起源は村上藩の青砥武平治による世界初の自然保護増殖「種川の制」の施行とも言えます。江戸幕府へ献上されていた鮭は、百種類もの料理法が今も受け継がれ、冬の食卓を飾る郷土料理です。皇后陛下ゆかりの地として知られる村上から、令和の皇位継承の重要祭祀「大嘗祭」にも庭積の机代物として塩引き鮭が供納されました。

この地区バッジは、「日本海の夕日」「ハマナス」「鮭」を用いて第1分区ならではの季節の移ろいと自然の営みを表現しました。皆様にお楽しみいただければ幸いです。

国際ロータリー第2560地区2020-21年度

佐藤ガバナー事務所

〒951-8053新潟市中央区川端町6-53

ホテルオークラ新潟1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565